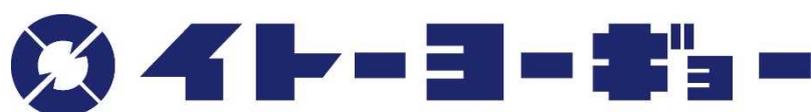


ライン導水ブロック-F型 ペダループ

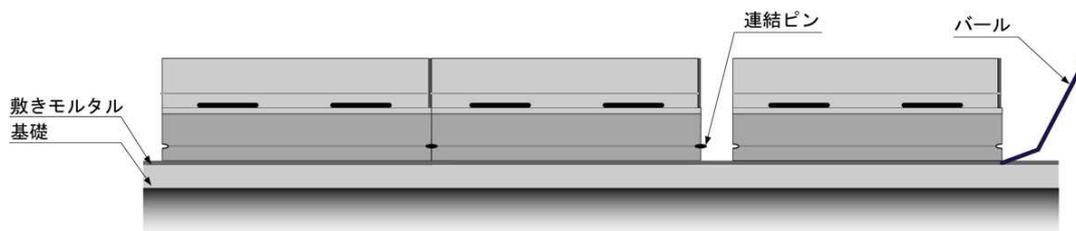
施工要領書



1. 施工手順及び設計・施工上の留意点

施工手順

- ① 床掘りは規定の高さに合わせて不陸が生じない様、また地山を乱さない様に施工してください。不陸修正後は十分に転圧・締め固めを行ってください。
- ② 基礎砕石は規定の厚さに敷き均し、十分に転圧・締め固めを行ってください。
地盤が軟弱な場合及び重車両乗入れ部につきましては、荷重条件や地盤条件に応じて基礎厚さや基礎コンクリートでの設計を検討してください。
- ③ 基礎上に敷きモルタルを不陸が生じない様に規定の高さ・厚さで敷き均してください。
- ④ 専用吊具によりライン導水ブロック-F型ペダグループを設置してください。
- ⑤ 据付の際は付属の連結ピンをライン導水ブロック-F型ペダグループの側面水路下部の2ヶ所の差し込み穴に取り付けてください。連結ピンは水路底合わせのガイドとなります。
接合部はパールで押し込んで合わせてください。微調整の為に製品をたたく必要のある場合は、ゴム製のハンマーを使用するか、あて木をして破損には十分に気をつけてください。
- ⑥ 据付け後、埋戻しを行い、躯体の破損や通り・高さの変動に気をつけ、十分な転圧を行ってください。
埋め戻しの際には、土砂・モルタル・アスファルト乳剤等の付着を防ぐために、スリット部及びポーラスコンクリート部をシート等で養生してください。



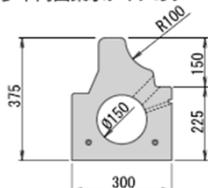
※変換ブロック・擦付ブロックについて

ライン導水ブロック-F型ペダグループには、ライン導水ブロック-F型標準品、ライン導水ブロック歩道切下・車両乗入品と接続するため、変換ブロック、擦付ブロックを用意しています。標準ブロックと同様に施工してください。



○標準 A・B φ150 L=1000mm

※歩車両面集水タイプあり



○変換ブロック A・B 左 L=500mm

※ライン導水ブロック標準部との接続に使用



○擦付 A・B 右・左 L=500mm



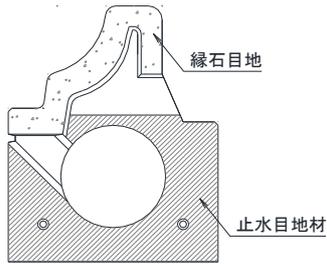
※歩道切下げ部施工上の留意点

- ① 歩道切下げ部も排水機能をもたせるため、歩道計画上の曲線半径に沿った曲線製品を用い、目地開きを生じさせない様にします。
- ② 曲線ブロック(現在、R=1.5、2.5、3.5、4.5、6.0、12.0mの6種)と直線ブロックを組み合わせて施工します。
- ③ 曲線ブロックは、ライン導水ブロック-F型と共通の製品です。

※車両乗入れ部の留意点

基礎の仕様につきましては、荷重条件や地盤条件に応じて基礎厚さや基礎コンクリートでの設計を検討してください。

※製品の目地処理について



止水目地材

製品下部の管路によって雨水を排水するため、管路の周囲に止水性発泡目地材を使用します。目地材は工場にて貼り付けて出荷します。止水許容目地幅は、製品下部で7.5mm以下とします。

縁石目地はモルタル仕上げを標準とします。
許容目地幅は水路部分の止水目地幅で規定される為、許容目地幅は製品下部で7.5mm以下(縁石部で12.5mm以下)とします。

曲線部への据付等で目地幅が許容値を超える場合には、止水目地材の重ね貼りで対応してください。

2. 曲線設置方法

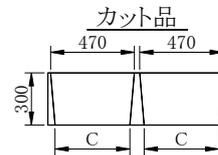
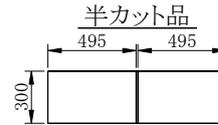
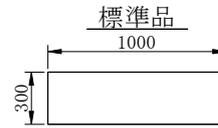
歩車道境界標準部への適用

曲線半径に応じて以下の3タイプで対応します。



種別	L	対応範囲
標準品	1000	31R以上
半カット品	495	16R～31R
カット品	470	15R以下

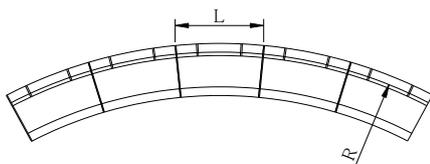
※対応範囲は、目地幅を10mm以下とした場合の数値です。



※曲線半径に応じてC寸法を決定し、カットします。
カット加工は別途費用にて個別対応が可能です。

歩道切下部への適用

歩道切下部曲線用として、曲線半径に応じて下表の6タイプの曲線用製品と、直線用製品のカットにて対応します。

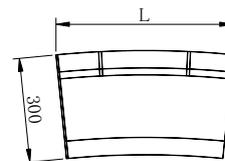


曲線対応の目安

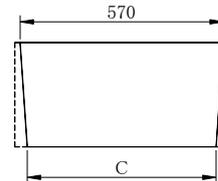
製品種別	L	対応範囲
曲線用	1.5R	1.4R～1.5R
	2.5R	2.2R～2.5R
	3.5R	3.1R～3.5R
	4.5R	3.7R～4.5R
	6.0R	4.6R～6.0R
	12.0R	7.1R～12.0R
直線用	600	18.0R以上

※対応範囲は、外側目地幅を10mm以下とした場合の数値です。

曲線用



直線用カット品



※曲線半径に応じてC寸法を決定し、カットします。
カット加工は別途費用にて個別対応が可能です。

3. 施工時のお願い

ライン導水ブロック 施工時のお願い

ライン導水ブロックは、雨水表面集水・排水処理を効率よく行うことを考えて開発された製品です。その為、製品には集水スリット開口部が設けられています。この集水・排水機能を十分に発揮させる為に、施工時には以下の点にご注意ください。

スリットはガムテープ等で塞ぎ、碎石やアスファルト合材等が侵入しない様に養生してください。



ライン導水ブロック-F型スリット部のガムテープでの養生状況



養生無しでの施工で、管路内に碎石、AS合材が堆積している状況。

4. 維持・管理方法

表層部及び管内の清掃は、集水枦から高圧噴射洗浄方式で行います。

<管路部分の清掃>

高圧洗浄車及び揚泥車



標準部車道枦での作業状況

後方噴射型高圧洗浄ノズル

揚泥ホース

切下げ部枦での作業状況



標準部でのシート養生状況

車両乗入部での養生状況（噴出）

<スリット部分の清掃>

外部より高圧噴射で洗浄

洗浄前の集水スリット

洗浄後の集水スリット